



今月のみさとし/父祖の霊は実に我等を神に近づける最大の先導者である。(真行 39 頁)

## 第79回 太陽精神碑建立記念祭

# 立教100年に向けて、解脱会の発展、世界平和を祈って

奉祝立教 90 年解脱金剛 70 年祭の節目の年、建国記念の日の 2 月 11 日に本年最初の六次行事である、第 79 回太陽精神碑建立記念祭が全国会員代表参集の下、御霊地にて盛大に開催された。



第 1 部「太陽精神碑前の儀」において長老さまが奉告文を奏上



第 2 部の式典において誓願文を奏上される長老さま



渡辺理事長の式辞を拝聴



国の発展、解脱会の発展を祈念して万歳三唱



あばていの太鼓演奏と共に神楽が奉納された



活気ある鼓笛隊の演奏に拍手が沸いた



第 3 部に行われた祝いの餅まきに歓声が上がった



売店には奉祝を記念した饅頭や煎餅が販売された

当日は天候が心配されていたが、穏やかな冬晴れに恵まれた。午前 8 時 45 分より本部役員らが参列し、奉告祭が執り行われ、祭典の無事完遂を祈念した。

午前 10 時、金剛さまが「祖先の汗と涙と肉と骨との結晶」と示された、米、麦、豆、粟、蜀黍が供えられた太陽精神碑前において第 1 部・太陽精神碑前の儀が開式、長老さまが奉告文を奏上された。

次に、御霊地お山にて午前 10 時 30 分より全国各地の鼓笛隊が入場、11 時、第

2 部・太陽精神碑建立記念祭式典が開式。国歌、太陽精神碑の歌を斉唱、長老さまが国旗に向かい、誓願文を奏上された。

式辞では、渡辺孝彦理事長が「心一つにし、与えて求めぬあたたかく思いやりの心を前に出して立教 100 年に向けて、解脱会の発展、日本国の繁栄、世界平和に向かって大きく羽ばたこう」とと会員としての心構えを力強く述べた。

来賓祝辞では、現王園孝昭北本市長（田中正昭企画財政部長代読）の挨拶を頂き、

最後は渡辺理事長発声による万歳三唱をもって閉式となった。

第 3 部・直会では、女性部、青年部による五色うどんやお神酒、甘酒などの接待が行われる中、お山後方ステージでは、解脱太鼓「あばてい」と共に、今回は地元の「花舞鳥歌風遊月響雅楽団」を招き、笛と舞の神楽で太鼓演奏に彩をそえた。

最後に奉祝の年を期して紅白の餅まきが行われ、佳節の年の最初となる六次行事にふさわしいものとなった。

# 「奉祝の年 活性化に向けて」をテーマに



支部活性化に向けた所信表明を述べる渡辺理事長

1月27日に平成30年度本部全体会議、翌28日に本部布教推進会議が御霊地・解脱研修センターにて行われ、本部役員、本部教務員、全国各教区長が研鑽した。

今回は「奉祝の年 活性化に向けて」をテーマにプログラムが進められた。

渡辺孝彦理事長の所信表明では、まず奉祝記念事業に対する勧募への御礼を述べた後、御霊地道場の改修工事の完了とお山外溝工事の進捗状況の報告、そして今年奉祝の年であると同時に、立教100年の大節に向けた充電の年とし、金剛さまのお言葉「創業に次いで又創業、又々創業の飛躍こそ、大日本の祖先に復答する使命である」を体し、支部の活性化に向けた心構えを示した。

続いて西村晴雄教務局長が、「平成30年度本部布教活動方針の徹底」をテーマに講話し、秋の記念大祭が佳節の年の集大成となるようにと締め括った。

昼食後は御霊地道場にて、田中宏明御

霊地局長が立教90年記念事業勧募の御礼と耐震補強工事の詳細、そして新しい南棟・中央棟を紹介し、各棟の内覧が行われた。次に、「金剛さまのご精神と六次大行の意義」をテーマに宮坂保徳教育部長の講義より学び、その後、「祈りから実践へ」をテーマに3名の活動報告を受けた。先ず、名古屋第1教区の樋口勉教区長が、教区五担当者研修をきっかけに各担当者が思いを一つにした「ファミリー・フェスタ」について。次に神戸教区の西田義信教区長が阪神淡路大震災で受けたボランティアの感激が元となり、「恩返し行」として様々な被災地へ展開しているボランティア活動について。最後に九州教区の池松康博本部教務員が、熊本大震災で被災しながらも「足もみ活動」で地域貢献し、それにより自らも救われた体験など、それぞれの報恩行を述べた。その後、圏域毎に分かれて学びを実践に活かすためのディスカッションが行われた。



樋口名1教区長 西田神戸教区長 池松本部教務員



2日目早朝に行われた「布教推進祈願」



忌憚のない意見が交わされた

日付が変わり翌朝6時30分、まだ雪が残る厳寒のお山・太神社殿前にて、「支部活動目標奉告の義」及び「布教推進祈願」で「本部布教推進会議」が始まった。

渡辺理事長の激励の挨拶の後、西村祭典委員長、飯塚健一記念大祭実行委員長より秋の奉祝記念大祭についての説明があり、それを受けて全体討議が行われた。その後、教区長と本部出講員に分かれてそれぞれディスカッションが行われた。

最後に渡辺理事長から2日間のまとめとともに労いの言葉があり、参加者は佳節の年をさらに飛躍の年にしようと精進を誓い合い、正午過ぎに散会となった。

## ミャンマー・スタディツアー事前学習会

# 第2回 メンバーの絆強める

3月2日～9日に行われる第2回ミャンマー・スタディツアー(MST)に向けた2回目の事前学習会が2月12日、御霊地・中央棟2階研修室にて行われ、ツアー参加者12名とスタッフが集った。

青年本部が主催するMSTとは、本会の報恩行の一つ、「副食を献じる運動」や青年部の「まごころ募金」の寄付先であるNPO「ジャパンハート」がミャンマーで運営するドリームトレイン(人身売買

等から子供たちを守る養育施設)やワッチェ慈善病院、視覚障がい者自立支援事業施設への訪問を通じて命の尊さについて学び、現地の子供たちとの交流や、日本人墓地の供養を行うなど、ミャンマーの歴史と文化に触れながら参加者自身の成長を目的に行われる行事。

学習会では、宮原秀治青年本部長より昨年参加した感想をふまえた心構えや説明を受け、ジャパンハートの佐藤抄理事



と鈴木綾氏(看護師)を迎え、活動の始まりから訪問する各施設の現状など詳細な説明と質疑応答、参加メンバーのスピーチ、最後は杉山泰則団長から参加者に向けた抱負と熱い思いが伝えられ、ツアーに向けて心を一つに絆を強くした。



平成30年度 節分会

# 春の到来を寿ぐ節分会が全国各地で開催



御霊地・解脱練心館



本部道場



札幌道場



湘南道場



中部道場



関西道場

平成30年の節分会が2月3日(札幌、湘南は2月1日)、全国各地道場にて開催。まず年男・年女や本部役員、教区役員らが袴姿で御神前に整列し、拝礼行事の後、代表者が本会の豆撒き、「三声一声」を説明した後、豆撒きが行われた。

御霊地では解脱練心館を会場に700名が集い、地元北本宿囃子連による獅子舞の演舞や福引きが行われた。恒例のチャリティバザーでは29万円の売上げがあり、同市の社会福祉協議会へ寄付された。

本部道場では、地元荒木町の方が多数

来場する中、渡辺孝彦理事長による三声一声の掛け声が続いて豆撒き式が行われ、直会では地元荒木町のフラダンスや福引き抽選会に会場が沸き上がった。

札幌道場では、報恩日行事後に行われた。今年は若い女性が多くみられる中、早川廣美常任理事の発声により豆撒き式が行われ、後の福引き抽選会では、たくさんの歓声と笑顔があふれた。

湘南道場は報恩日行事後、木村正則常任理事が、節分会行事の意義を確認した後豆撒き式となった。直会では御神酒や

甘酒が振る舞われる中、奉納演芸の腹話術や脳トレ体操、福引きで盛り上がった。

中部道場では、家族揃って参加する会員が多数みられる中、24名の年男・年女と山本英次道場長が威勢よく豆を撒いた。後の福引きではくじが引かれるたびに歓声上がり楽しい一時となった。

関西道場では、今庄康裕布教本部員が講話において、節分や豆撒き、恵方巻きの意味等の説明の後、豆撒き式が行われ、直会では乾杯の後、福引き抽選会となり、会場では一喜一憂する姿が見られた。

## 川越元町支部創立70周年記念感謝会

# 家庭を中心に積極的に学ぶ

1月18日、川越元町支部設立70周年記念感謝会が、本部より長老さまを迎え、支部会員をはじめ、当支部に縁ある会員らが多数列席のもと、盛大に催された。

当支部は、金剛さまより直接のご指示により、大賀義文氏が昭和23年に設立。同45年美彰氏が継承、平成10年君江氏が継承、同18年に光夫氏が四代目支部長に就任し、現在に至る。

第1部は、支部道場にて午前10時に開会。大賀支部長は、平成30年、そし

て立教90年に支部創設70周年を会員と共に迎えられたこと、支部

40周年より毎回の周年行事に長老さまのご出講いただいていたことの喜びを語った。その後、長老さまは記念講話においてみ教えの尊さの再確認を強調され、「本部活動方針を素直に実践して家庭を中心に積極的に学びながら幸せな人生を築いてください」と締めくくられた。



第2部直会は、支部氏神である氷川神社の会館で行われ、功労者表彰、祝辞の後は会員より支部長夫妻に感謝の花束が贈られ、続いて支部長が謝辞を述べた。

その後は、支部会員らが練習を重ねてきた盛りだくさんの余興に会場は大いに沸き、最後に三本締めでお開きとなった。

# 春秋大祭に向けた万部供養の申込みについて

万部供養は、金剛さまの御法力と「神宝」と呼ばれる御五法、そして陀羅尼経のおはたらきにより、諸霊が安霊するだけでなく、いきいきとはたらいいただけるようになる大変尊い供養です。春秋の大祭には是非とも申し込ませていただきますよう。

## 「開教以来先亡者之霊」に申込みましょう

本年、立教90年・解脱金剛70年祭という佳節の年を迎えられたのは、立教以来、数多くの先人・先輩たちがみ教えを広めてくださったお蔭です。

記念の大祭において金剛さまへ感謝の真を捧げ、報恩をお誓いすることは当然のことながら、同時に先人・先輩に対してもまた、感謝と報恩の真を捧げることは、敬神崇祖・感謝報恩の教えを学ぶ者として、させていただくべき大切な行であらうと思います。



万部御法楽は大祭本祭において五智如来堂で行われる

感謝と報恩の心をこめて、「開教以来先亡者之霊」の万部供養も併せて申し込ませていただきますよう。

## 感謝と孝養の供養

霊界入りされた父母や祖父母に対して天茶供養を充分にし、感謝と孝養の心を込めて申し込むことが基本です。

また土地関係や職業関係で申し込む時は、日々そのお蔭により生活させていただいていることの御礼と報恩の気持ちを忘れないようにしましょう。

「終身安楽」は、「一生の間、幸福に生活できますように」との意味があり、特別にお世話になった方々に対して感謝の祈りを込めて申し込みます。

「修身安楽」は、「自分の行いを正しく律し、立派な人になる」との意味があり、自分はもちろん、家族や親戚を申し込むとよいでしょう。金剛さまは万部供養の第1号にご自身をなされ、2号から21号まで修身安楽に御一族をされています。

## 申し込む時の心構えが大切

万部供養は、我々が日々生かされ、ご加護頂いている諸々の霊魂に対する感謝と御礼の供養です。この供養により霊魂は完全成仏され、さらにいきいきとはたらいいただけるようになるのです。

万部供養が執行されると、万部供養の本証が御霊地に永久保存され、「霊祭執行之証」が申し込まれた会員に渡されます。

金剛さまがご在世当時に渡された執行之証には、次のような内容の文章が同封されていました。

「今回、霊祭されたご意志をお忘れなく家族や親戚に伝えられ、この執行之証は家宝として保存してください」

万部供養は、申し込む時の「意志」が大切ですので、申請時には、どの霊魂を申し込むかを支部長や家族とよく話し合い、支部御神前で必ずご挨拶申し上げてから申し込ませていただきますよう。

※ 春季大祭、万部供養申込締切は4月15日 (本部必着 / 各支部の締切日は異なりますのでご注意下さい)

## 兵庫教区・出講者研修

# 自分の原点を見つめ直す

兵庫教区は1月8日、黒田庄支部にて、教区担当の倉田正治指導員を講師に迎えて教区出講者研修が行われた。

初めに笹倉範久教区長より開会挨拶と教区活動方針の説明があり、続いて倉田指導員の講話では、「立教90年の節目の年にしっかりと自分の原点を見つめなおし、謙虚にみ教えをお伝えしてゆくように」との勉強があった。

その後、明石、姫路、宍粟各地区それぞれの代表者が、1



月のみさとしをテーマに体験を絡めたミニ講話を順番に行い、最後に倉田指導員の講話があった。

最後の質疑応答では、参加者が日ごろ抱えている思いや疑問の多くが解消し、意義深い研修となった。

## 奉祝立教90年便り

# CD「寶」予約締切迫る

この度、立教90年記念として作られるCD「寶(たから)」は、昭和16年11月28日の「頌徳碑建立除幕式典」、そして金剛さまの「還暦祝賀式典」において金剛さまの貴重なご講演が収録されています。

当時、8枚組のレコードとして発売された稀少なものが、今回、ご講演内容の全文をはじめ、各界からの

祝辞や当時の関連資料、式典当日の写真等をまとめた冊子が付属、CD盤は高品質のプレス方法を採用。さらに御真筆の金印入りの桐箱に納めるという豪華さ。

1万円という価格以上の価値があり、限定生産のため今回のみの発売となります。予約締切は3月31日なので大至急、支部を通してお申込みください!